

③ 津和野藩御船屋敷跡



石州津和野藩御船屋敷跡

コノ地ハ寛永八年以降式百四拾年間ノ津和野亀井藩御
 船屋敷ノ跡ナリ。モト石見ヨリ上方ニ到ルニハ海路遠
 ク馬関ヲ迂回ス。ココニ於テ亀井藩、ココ廿日市ノ一画
 ヲ芸藩ニ借り、御船屋敷ヲ構ヘ、以ッテ上方往来ノ要津
 トセリ。コノ一画ハ、東桜尾山側四十間、北側五十三間
 、西水陣側五十三間、南洪側五十四間内ニハ御館長屋紙
 倉アリ。マタ、桜尾山ヲ隔テソノ東麓ニハ御船入アリ
 、常ニ御用船数多ヲ繋ク。而シテ石州ノ人士、日夜廿日
 市ノ人士ト接シ、所在ノ文化経済ニ奇与スルコト多ク、
 今有志相謀リ、旧地ノ一角ニ碑ヲ建テ、由来ヲ刻シ、以
 テ後世ニ伝ウモノナリ。

昭和五十五年春吉日

宮島口ライオンスクラブ

石州津和野藩御船屋敷跡碑

コノ地ハ寛永八年以降式百四拾年間ノ津和野亀井藩御船屋敷ノ跡ナリ。モト石見ヨリ上方ニ到ルニハ回路遠ク馬関ヲ迂回ス。ココニ於テ亀井藩、ココ廿日市ノ一面ヲ藝藩ニ借り、御船屋敷ヲ構ヘ以ツテ上方在来ノ要津トセリ。コノ一画ハ、東桜尾山側四十間、北側五十三間、西本陣側五十三間、南浜側五十四間内ニハ御館長屋紙倉アリ。マタ、桜尾山ヲ隔テテソノ東麓ニハ御船入アリ、常ニ御用船数多ヲ繋グ。而シテ石州ノ人士日夜廿日市ノ人土ト接シ、所在ノ文化經濟ニ寄与スルコト多年、今有志相謀リ、旧地ノ一角ニ碑ヲ建テ由来ヲ刻シ以テ後世ニ伝ウモノナリ。

昭和五十五年春吉日

宮島口ライオンズクラブ

